



MRAPID

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症発生情報

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2005年9月 (2005年10月14日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419
 青森県環境保健センターホームページ
<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

1. 第35週から第39週(8月29日～10月2日)までの動向

- 1) STDは8月に比べて患者数が若干増加しました。特に女性の20代で患者数が増加しました。また、疾病別では尖形コンジローマ、淋菌感染症は減少しましたが、性器クラミジア、性器ヘルペスが増加しました。
- 2) 全数把握届出疾患は次のとおりです。

青森保健所管内	細菌性髄膜炎：1名
弘前保健所管内	腸チフス：1名、急性脳炎：2名
八戸保健所管内	マイコプラズマ肺炎：18名、腸管出血性大腸菌感染症：2名、 バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1名
上十三保健所管内	腸管出血性大腸菌感染症：4名

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	14	4.67	22	7.3	9	4.50			5	2.50			50	3.85
76 性器ヘルペス	2	0.67	7	2.3	5	2.50	3	1.50					17	1.31
77 尖形コンジローマ					2	1.00	1	0.50	1	0.50	1	1.00	5	0.38
78 淋菌感染症	2	0.67	1	0.3	3	1.50			2	1.00			8	0.62

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖形コンジローマ		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0～1										
1～4										
5～9										
10～14										
15～19	2	8		3			1		3	11
20～24	6	17		1			2	1	8	19
25～29	2	7	1	3	1		1		5	10
30～34	1	1	1		1		2		5	1
35～39	1	1				1	1		2	2
40～44	2	1	3						5	1
45～49	1		1						2	
50～54					1				1	
55～59										
60～64			1						1	
65～69										
70～			2	1	1				3	1
合計	15	35	9	8	4	1	7	1	35	45

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

	採取部位別											青森県 合計
	喀痰	留置カ テーテ ル	術創部 (創部 感染)	耳漏液	気管洗 浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2										1	3
81ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症												

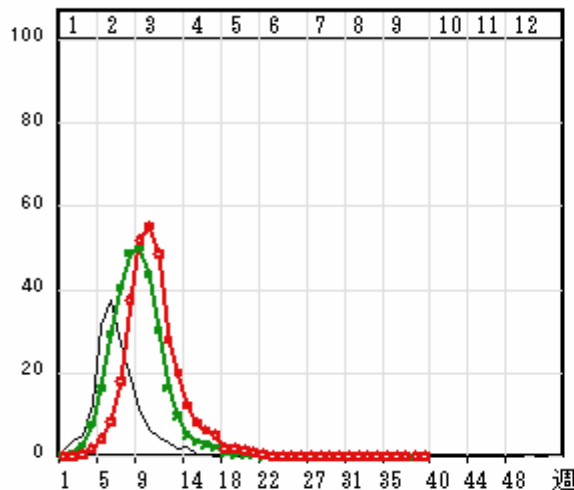
4. 全数把握感染症 (2005年)

	疾患名	青森県		全国			疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計	当月	累計
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱			8	29
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎			1	1
	5 ペスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症				
	8 急性灰白髄炎						37 発しんチフス				
	9 コレラ			8	37		38 ポツリヌス症				
2類 感染症	10 細菌性赤痢		1	85	388	39 マラリア			4	36	
	11 ジフテリア					41 ライム病				5	
	12 腸チフス	1	1	5	30	43 レジオネラ症		1	23	126	
	13 パラチフス			2	10	45 アメーバ赤痢		2	38	256	
	14 腸管出血性大腸菌感染症	6	17	566	2,536	46 ウイルス性肝炎			10	85	
3類 感染症	18 エキノコックス症			2	7	47 急性脳炎					
	19 黄熱					48 クリプトスポリジウム症			1	4	
	20 オウム病				21	49 クロイツフェルト・ヤコブ病		1	10	56	
	21 回帰熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	5	19	
	22 Q熱				4	51 後天性免疫不全症候群		8	43	392	
	23 狂犬病					52 ジアルジア症			4	24	
	25 コクシジオイデス症				1	53 髄膜炎菌性髄膜炎			1	4	
	27 腎症候性出血熱					54 先天性風しん症候群					
	28 炭疽					55 梅毒		1	24	212	
	29 つつが虫病		12	1	71	56 破傷風		2	3	35	
	30 デング熱			17	35	58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	3	23	

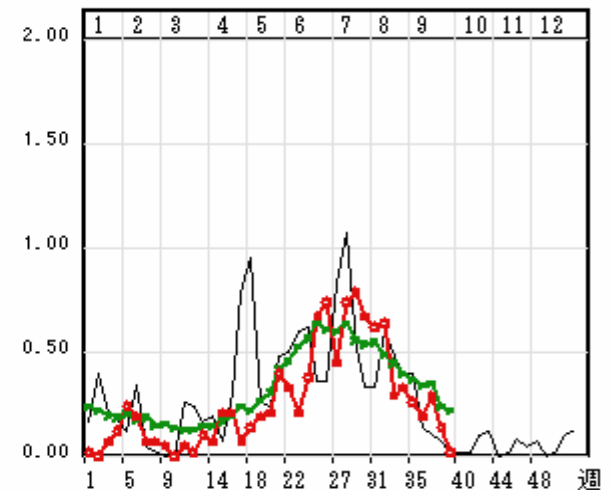
5. 定点把握感染症の推移

○—○ : 当年(青森県) — : 前年(青森県) ×—× : 当年(全国)

(人/定点) インフルエンザ

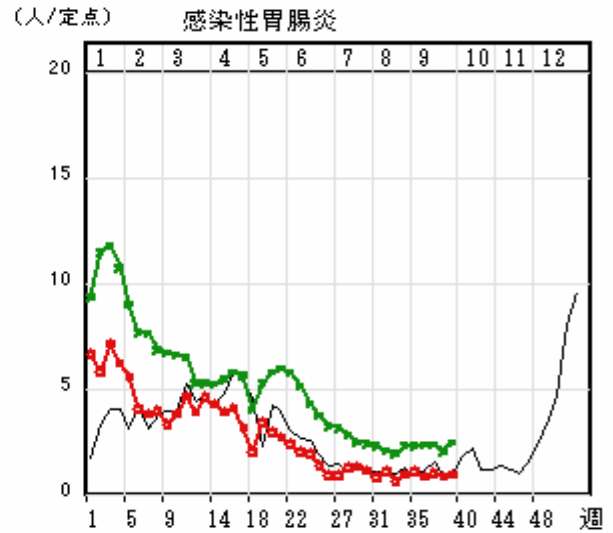
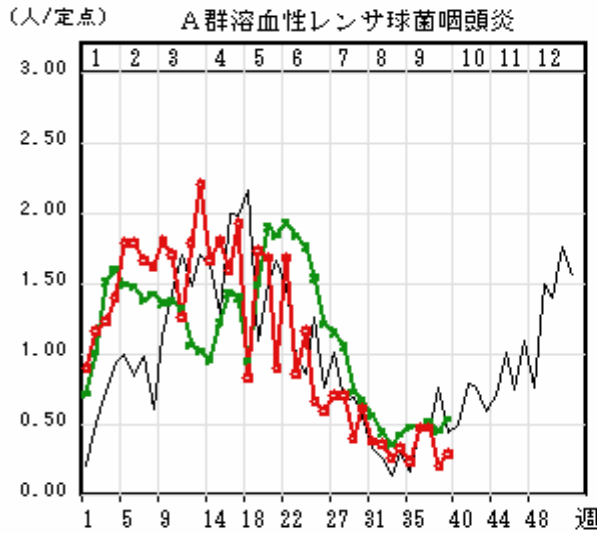


(人/定点) 咽頭結膜熱

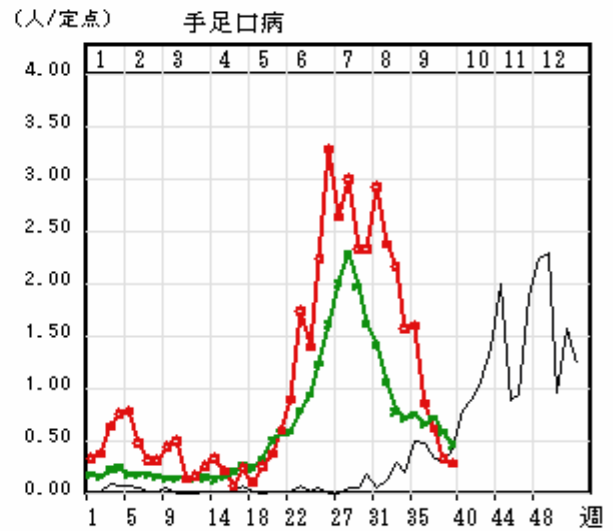
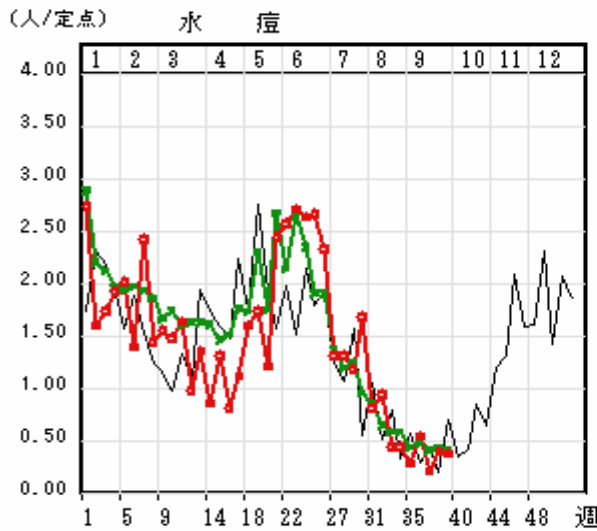


インフルエンザは、当月中の発生報告はありませんでした。咽頭結膜熱は、減少しました。

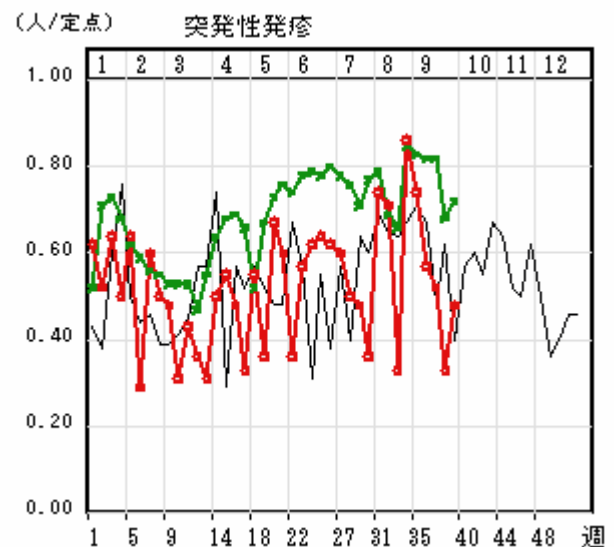
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は昨年同期及び全国と比較して、低い値で推移しています。
 感染性胃腸炎は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。

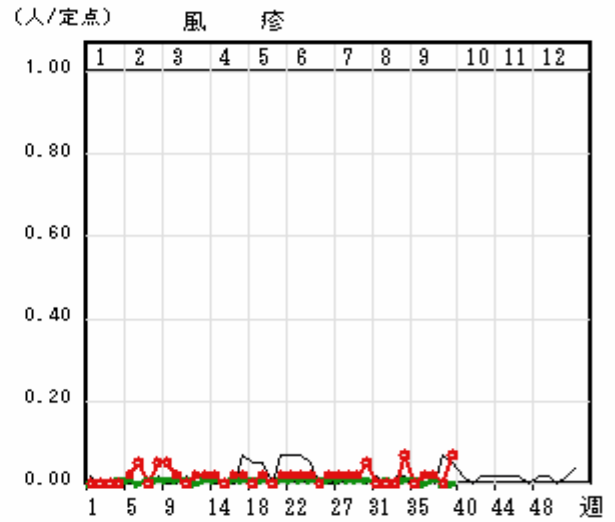
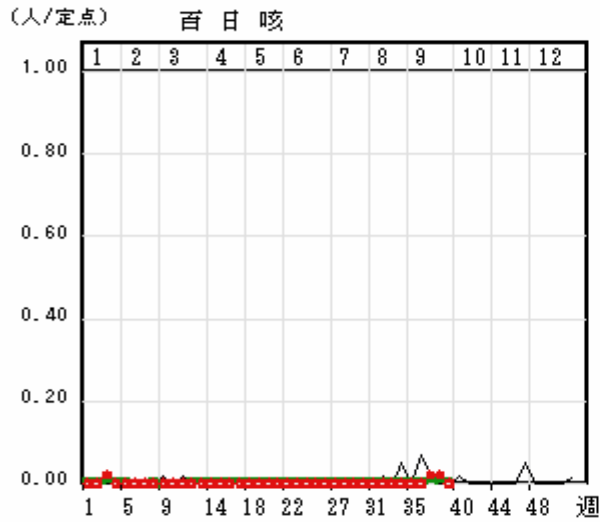


水痘は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。手足口病は、急激に減少しました。

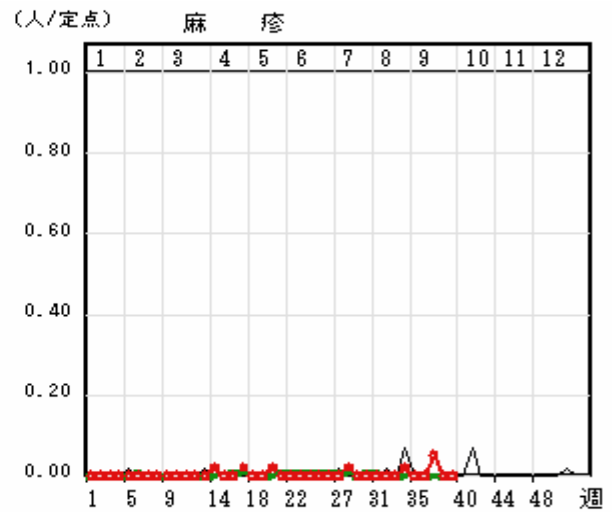
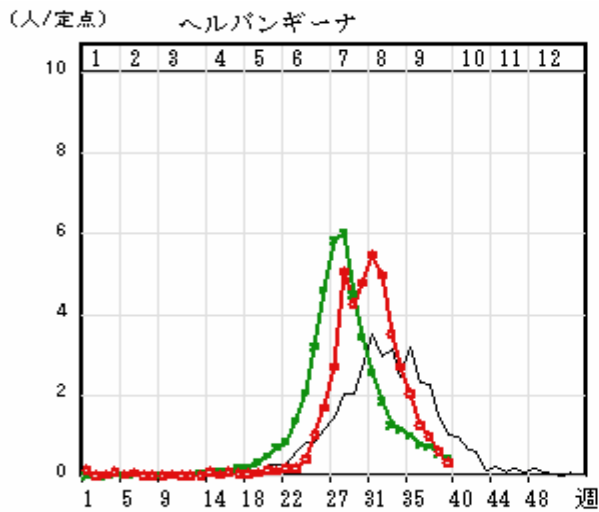


伝染性紅斑は、減少傾向にあるものの全国値及び昨年同期を上回っています。
 突発性発疹は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。

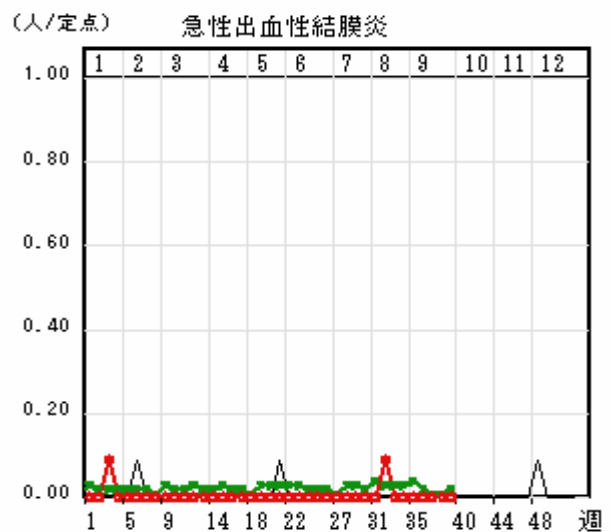
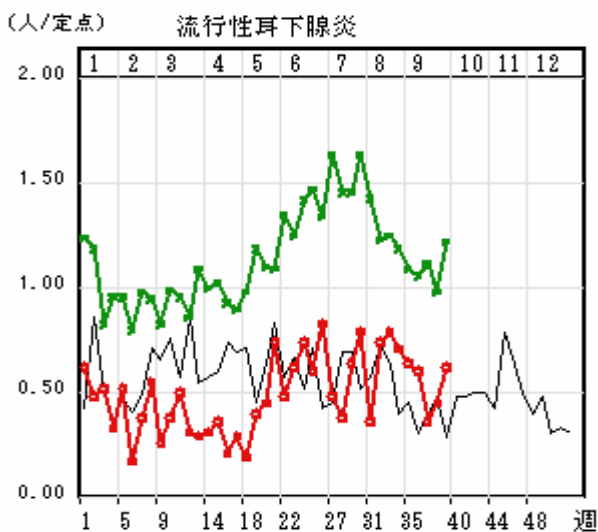
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



百日咳、風疹とも低い値で推移しています。



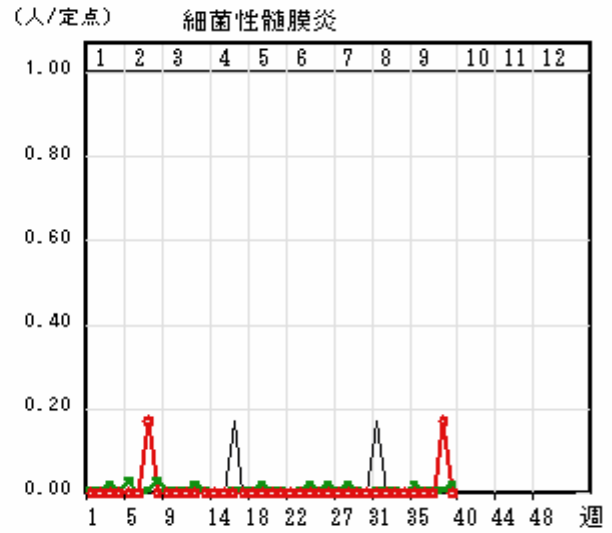
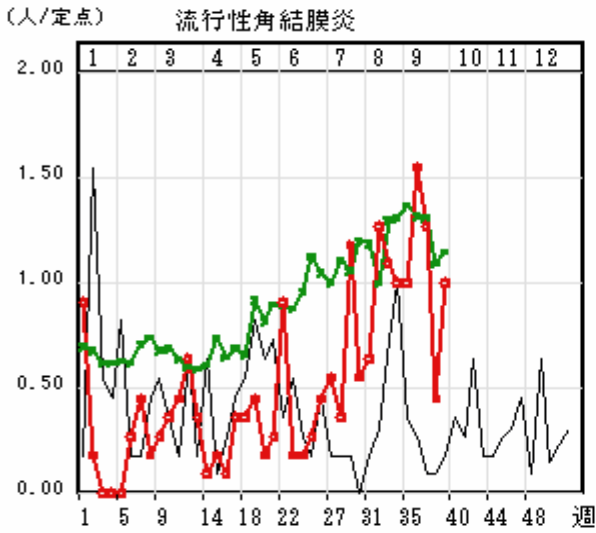
ヘルパンギーナは、減少しました。麻疹は、低い値で推移しています。



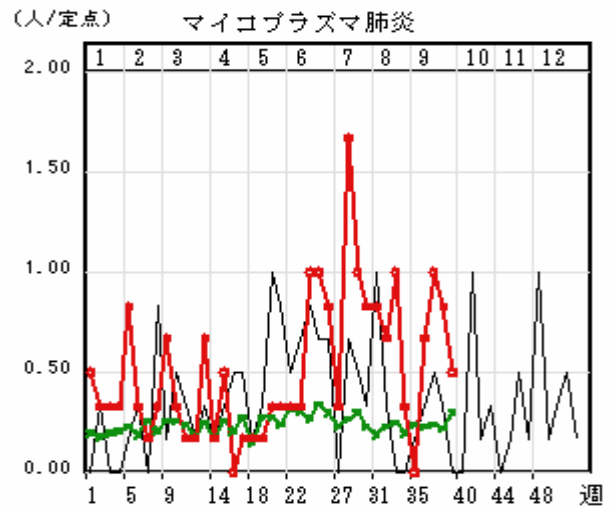
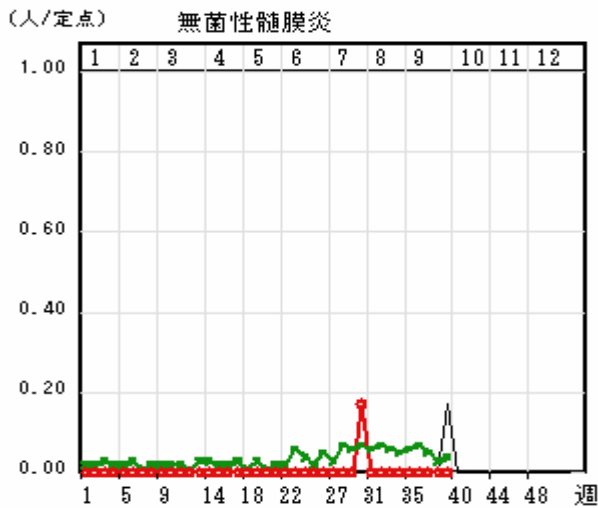
流行性耳下腺炎は、全国値よりは低いものの昨年同期と比べて高く推移しています。

急性出血性結膜炎は、低い値で推移しています。

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)

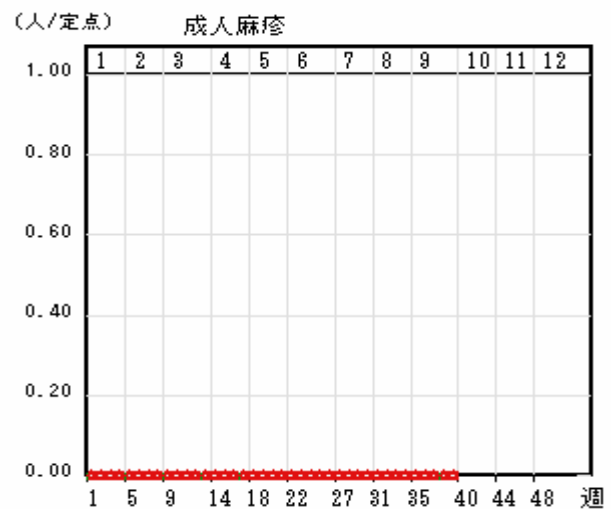
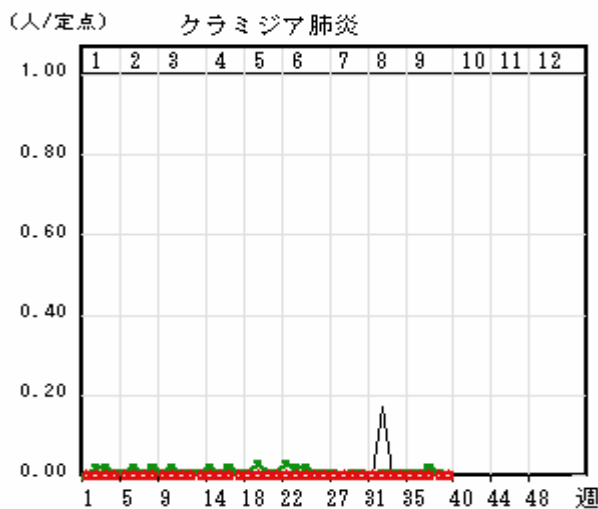


流行性結膜炎は、増加傾向にあります。細菌性髄膜炎は、当月中に1件の報告がありました。



無菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

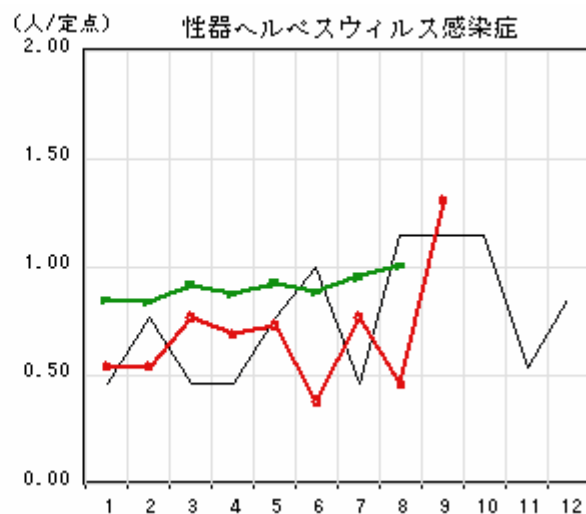
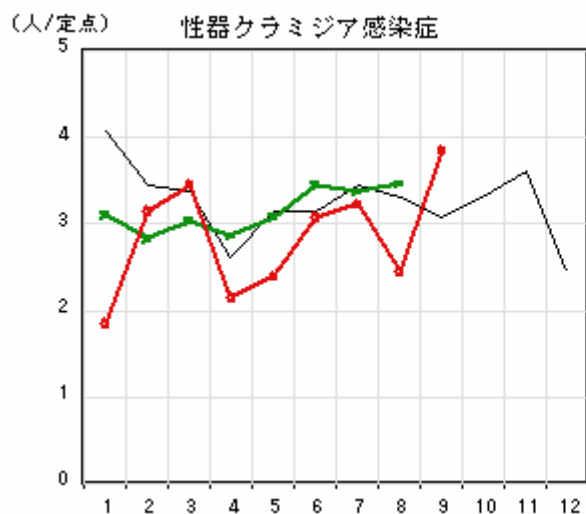
マイコプラズマ肺炎は、全国値よりも高く推移しています。



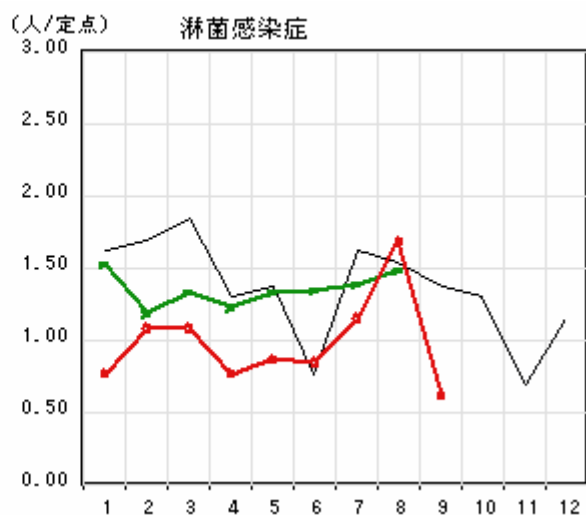
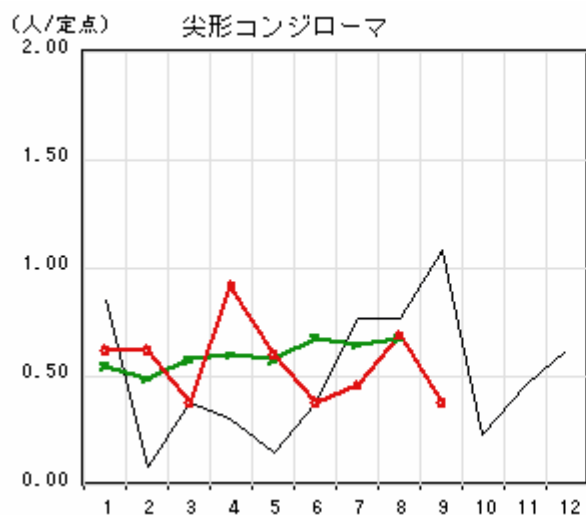
クラミジア肺炎、成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

6.STD 感染症の月別推移

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症は、増加傾向にあります。



尖形コンジローマ、淋菌感染症は、減少傾向に転じました。